

交流・文化施設等整備検討委員会 専門委員会（ホール部会）

会 議 次 第

日時：平成20年11月26日（水）午前9時～

場所：上田駅前ビルパレオ 2階会議室

1. 開 会

2. 副市長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 報告事項

(1) 第2回専門委員会の概要について

資料1

5. 議 事

(1) ホール施設整備について

資料2-1、-2、-3

(2) その他

6. 閉 会

●配布資料

- ・資料1 第2回専門委員会の概要
- ・資料2-1 ホールの検討課題
- ・資料2-2 市民要望と検討委員会の主な意見
- ・資料2-3 市内文化施設（ホール）の状況（主な事業）

交流・文化施設等整備検討委員会 専門委員会 委員名簿 (敬称略)

氏名	職業等	役職名等	部会構成		
			ホール	美術館	公園広場
ひばなやすお 日端康雄	慶應義塾大学名誉教授	交流・文化施設等整備 検討委員会委員長 専門委員会委員長	○	○	○
つちもととしかず 土本俊和	信州大学工学部教授	交流・文化施設等整備 検討委員会委員	○	○	○
みやまよしお 美山良夫	慶應義塾大学文学部教授 慶應義塾大学アート・センター副所長	交流・文化施設等整備 検討委員会委員 専門委員会副委員長	○		
いとうようこ 伊藤羊子	長野県信濃美術館主任学芸員	交流・文化施設等整備 検討委員会委員		○	
さだ しづり 佐田繁理	㈱さだ企画代表取締役社長		○		
つむぎ たかし 津村 章	(財)地域創造芸術環境部プロデューサー		○		
せきた まさゆき 関田正幸	(社)日本クラシック音楽事業協会副会長 (財)ジェスク音楽文化振興会専務理事	上田市出身	○		
おおた けい 太田 圭	筑波大学人間総合科学研究科准教授	上田市出身		○	
たきざわ まさゆき 滝澤正幸	長野県立歴史館主査学芸員	上田市出身		○	

計9名

6名

5名

2名

## 第2回専門委員会の概要

- 1 日 時 平成20年11月21日（金） 午前10時から12時まで
- 2 会 場 （財）都道府県会館 406号室
- 3 出席者 委員側：日端委員長、美山副委員長、津村委員、関田委員、太田委員、滝澤委員  
【欠席委員】土本委員、伊藤委員、佐田委員  
市 側：石黒副市長以下7名  
支援業務受託者：室賀建築設計事務所 室賀欣一氏
- 4 内 容 部会の設置と検討結果の報告等について
- 5 会議で出された意見

### （美術館等について）

- ・郷土作家について、常設と体験参加型の事業により、市の新たな文化活動として成立できる。
- ・山本鼎のアーカイブ資料は、鼎を美術界に広めるための重要な鍵。
- ・公園との一体性を考え、所蔵ブロンズ像の公園への設置の可能性を検討する。
- ・駅や上田城からの通り沿いに、保護ケース等を使用しながら作品を展示。
- ・案内標識のデザインにも作品を取り入れる。
- ・ブロンズ像の展示については、現物ではなくコピー作品を作成して使用。
- ・作品は現物を適正に展示し、落書きや破損を防ぎ、周辺が自転車置き場にならないように。
- ・石井鶴三のブロンズ作品は、作成当時、基本的には屋外展示を想定していない。
- ・屋外展示作品のコンテストを毎年開催すれば、市の美術館のアピールにもなる。
- ・公共展示は、観る人によっては不快に感じる作品もあるため、市民の判断の上で展示する。
- ・郷土作家の発信は相応の費用が必要、美術に関心のない方からの批判が出ることも踏まえる。
- ・郷土作家の発信は、市の広報としての意味合いもある。
- ・各郷土作家はスターであるがスーパースターではないため、ただ紹介するだけでは不十分。

### （施設と組織の構造について）

- ・複合施設である以上は、ホールと美術館で全く異なるコンセプトを持つ事はできない。
- ・ホールと美術館の共用部分について、実際の相互利用のためにはかなり慎重な議論が必要。
- ・共用部分は両者の用途が全く異なるため非現実的。スタッフの対立も目に見えている。
- ・ホールと美術館で共通した方針、プログラムを作らなければ、次第に分化してしまう。
- ・全体を統括できる人材が必要であり、美術館の企画としても、人材を育成するようなものを。
- ・現実的には全体を統括することは不可能。
- ・ホールと美術館の共同を理想としながら、人員も予算も取り合う結果となった例がある。
- ・商業施設との複合構造を持つ美術館で、地域に根ざした企画を開催し成功している例がある。
- ・美術館とホールとの企画が合わず、施設の相互利用はおろか会話も皆無という例もある。
- ・信念を持ったスタッフが多いほど対立し、常設展示と貸館のみのような体制なら対立しない。
- ・ホールと美術館は相容れない部分が多く、異なった価値観を持つという前提で検討する。
- ・オープンモールが注目されているが、冬季の気候を考えれば上田に分棟は相応しくない。
- ・複合施設は大きな危険性を持っている。
- ・施設は同一敷地内での分棟構造とする。
- ・建物としては中庭や廊下でつなげる、または分棟として、組織としても別にする。
- ・外観的にはひとつでも、内部で分けるということは可能。
- ・内部で分けるなら、最初からコンセプトも全て分けてしまう方法を。
- ・この方針は今から決定しておかなければ、開館してからでは手遅れ。

(施設のコンセプトについて)

- ・「交流」には「障がい者との交流」という意味を含ませる。全国的にも例のない文化施設を。
- ・障がい者の鑑賞や創作をバックアップすることが重要。
- ・文化芸術は「受身」ではない「積極的福祉」と言え、福祉の部分を担当大きな力を持っている。
- ・「心に痛みを持っている人に優しく芸術を紹介する」そんな観点が必要。
- ・無言館のある上田市だからこそ、全国に先駆けてできる。

(JT 跡地全体計画について)

- ・全く外観イメージの異なる商業施設と美術館が隣接することに不安を感じる。
- ・商業施設、文化施設、警察署が巨大な壁を造り、街を分断する可能性がある。
- ・JT 跡地全体について、〇〇シティーというような愛称や、主動線に〇〇通りなどの名前を。
- ・施設の公演によっては 10t 以上の車両が何台も来館するため、動線やスペースの配慮が重要。

# ホールの検討課題

## ■現状と課題

上田市民会館 (別紙参照)

- ・1, 330席の大ホール
- ・昭和38年建設(44年経過)で老朽化している。
- ・現市民会館が「史跡上田城跡公園」内にあるため移転を迫られている。
- ・各種施設及び設備が現在の公演・舞台に十分対応できる水準ではないため、市民が望む有名アーティストなどの公演は、ほとんど行われていない。
- ・貸し館のみで、クラシック音楽鑑賞などの自主文化事業も行われていない。
- ・利用率も低い(44%)

## ■市民要望と委員会の主な意見

□ホールについて (別紙参照)

- ・音楽の公演に主眼を置いたホール
- ・クラシック音楽、演劇の鑑賞など様々なジャンルに対応できるホール
- ・一流の音楽家や有名アーティストの公演
- ・一流の芸術に相応しい音響設備
- ・舞台裏などを広くし、大型楽器などの搬出入時の動線に配慮
- ・小中高校生の吹奏楽地区大会が開催できる規模(1500席程度)
- ・東信地域の中核都市として佐久市の1,500席を超えるべき、大規模なイベント、コンベンションやフルオーケストラ、大規模ミュージカル公演が可能な1,700~1,800席のホール
- ・演劇を見るための800席程度の中ホール
- ・文化団体の文化祭会場として500席程度の小ホール
- ・市民グループの練習、発表会で使える音楽対応能力のある300席程度の小ホール

□施設全体について

- ・市内既存施設との連携、役割分担
- ・財政面への配慮
- ・上田城、千曲川などの自然美、景観を配慮

□前回専門委員会で出された意見

- ・興行する立場からすると人口規模20万弱の都市で2,000席のホールは対応できない。
- ・オペラ、バレエの公演が可能な、劇場型の多目的ホールとすべき。オケストピットで200席が減少することを踏まえると興行的に採算が合う席数は1,800席程度がよい。
- ・1,800~2,000席の規模で興行的に採算の合う公演は非常に少ない。積極的に行っていくには20~30人のスタッフが必要となり、運営だけで約6億は必要。2~3年で貸し館のみのホールになることは避けなければならない。

## 施設全体のコンセプト

市民協働による文化芸術の薫る

まちづくりの拠点(鑑賞、創造、交流、育成)

目 標

「新上田市のシンボル」「文化芸術の拠点施設」

「新たな交流や賑わいの創出」「気軽に利用できる

親しみ憩いの施設」「環境や人にやさしい施設

設」

方向性

「市民参加」「創造・育成」「芸術・創造」

「交流・賑わい」「癒し」

## ■方向性

ホールのコンセプト

目的・目標

主な事業内容

施設概要

構成

規模

機能

建設費 (上限目安105億円)

管理運営の方向性

管理運営

市の負担(財政面の配慮)

1 施設整備の概要

(大ホール)

項目	市民意見・要望	検討課題
全体	音楽の公演に主眼を置いたホール、多目的ホール 大ホールは芸術鑑賞、小ホールは芸術発表とし、役割を分担する 大ホールは音楽、中ホールは演劇、小ホールは多目的とし、目的を分担する 様々な利用ができ、魅力ある催しが行われるよう、ホール機能・規模の充実 【アンケート問6、回答率21.3% (第3位)】	・ホールの目的 ・サブホールとの役割分担
事業内容	クラシック音楽(交響楽、吹奏楽、合唱等) 【アンケート問2、回答率20.9% (第1位)】 演劇、ミュージカル 【アンケート問2、回答率16.9% (第2位)】 ポピュラー音楽 【アンケート問2、回答率15.9% (第3位)】 一流の音楽家や有名アーティストの公演 長野、松本で行われるものと同レベルの公演 子ども向けの催しを多く行う 小中学校音楽関係部等の発表会、地区大会等 市民や若手アーティストの発表会、市民オーケストラの結成 映画の上映を多く行う(シネマコンプレックスの計画が断念されたため)	・対象演目
席数	小中学校音楽関係部の地区大会ができる1500席規模 興行として成立、収支のバランスがとれる規模 有名アーティストの全国ツアーの会場となる規模 1,700~1,800席程度 2,000席程度、県民文化会館程度の規模 県内外からの集客、観光面を考慮して、できるだけ大きいホール 客席数可変装置の設置	・適正規模(客席数) ・客席可変装置の検討
音響	一流の芸術に相応しい音響設備 音楽公演のため、残響時間を長く設定 講演会や演劇のため、残響時間を短く設定 音の聞こえにくい場所がないように 残響可変装置を設置	・高い音響性能 ・相反する音響条件 ・その解決方法
客席	前席とずらす角度をつけるなど観やすい客席配置 前後の間隔が広い席を設けるなど、高齢者や身障者への配慮 携帯電話遮断装置 二重扉の設置	・見やすい客席、雰囲気 ・客席の大きさ、間隔寸法 ・段差の解消方法など ・高齢者、障害者、母子への配慮法 ・客席に必要な設備
ホワイエ	公演前の待ち時間をゆっくり過ごせるスペース できるだけ多く設置する(特に女性用)	・トイレの確保 ・その他必要な設備
舞台	舞台裏、舞台袖の面積を広くし、大型楽器、大道具等の搬出入時の動線に配慮 倉庫やピアノ庫を設置し、移動動線にも配慮 舞台用リノリウムの設置	・必要な舞台面積と動線計画 ・倉庫の種類、数、面積 ・舞台形式と舞台に必要な設備
楽屋	大規模公演に対応できる数を配置 楽屋内で舞台の状況を確認できるモニター装置 主催者控室の設置 楽屋に必要な充分必要な設備を設置(モニター、トイレ、給湯、洗濯)	・必要な楽屋の数と広さ ・舞台裏に必要な施設と設備

(副ホール)

項目	市民意見・要望	検討課題
席数等	200席程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じた適正規模（席数）</li> <li>・ ホールの性格（対象）</li> <li>・ 客席の形状</li> <li>・ 舞台の形式形状</li> <li>・ 舞台設備</li> <li>・ 舞台裏の施設、設備</li> </ul>
	300席程度	
	800席程度、演劇用	
	ロールバック（収納）式座席	

(ホール共通)

項目	市民意見・要望	検討課題
練習室	リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホール付帯施設として必要な施設</li> <li>・ 付帯施設の設備と機能</li> </ul>
	防音の練習室	
	防音の軽練習室を設置	
	練習室（が必要）	
	【アンケート問4、回答率17.4%（第3位）】	
	舞台と同じ広さのリハーサル室	
	演劇練習用	
	ダンス練習用	
搬出入口	雨天時にも大型トラック複数台で作業が行える広さのあるスペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の位置、規模、設備、機能</li> </ul>
	段差を少なく	

(交流施設)

項目	市民意見・要望	検討課題
エントランス	広いスペース 公演前の待ち時間をゆっくり過ごせるスペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設との位置関係</li> </ul>
多目的スペース	多目的フリースペース（が必要）【アンケート問4、回答率20.3%（第2位）】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性</li> </ul>
	大人から子どもまで利用できる多目的スペース フリーマーケット等、物販のできる場所 多目的フリースペースが多くあれば、他の施設に代えられる	
レストラン・カフェ	レストラン、カフェ（が必要）【アンケート問4、回答率22.4%（第1位）】 おいしい、おしゃれなレストラン、カフェ 営業時間を長くする 弁当が注文できるレストラン レストランはアリオ上田を利用すればよい	
売店	おみやげや地域の特産品の販売 公演に関連した物販 ミュージアムショップ	
トイレ	できるだけ多く設置する（特に女性用） 子ども用トイレ、おむつ換えシート等の充実 身障者用トイレ 洋式のみにする 男女を近くにする	
その他	託児室 子どもが雨天時でも遊べるような施設 会議室 図書館 カルチャースクールや様々な講習会が開かれるスペース 運動やトレーニングができるスペース 市民誰もが気軽に訪れ、様々な利用・活動ができるよう、施設の交流機能の充実 【アンケート問6、回答率21.8%（第2位）】 利用者が限られるため交流施設は不要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な施設の整理</li> </ul>

### (利用者配慮)

項目	市民意見・要望	検討課題
バリアフリー等	段差を少なく	・バリアフリー対策
	エレベーターの設置	
	スロープの設置	
	ベンチ等を多く設置	

## 2 管理運営の方向性

### (事業計画)

項目	市民意見・要望	検討課題
全体	市内の既存文化施設との連携、役割分担	・事業費のシュミレーション
	稼働率、利用率の高い催しの企画	
	ハード面（建物）よりソフト面（事業の内容）を重視	
	上田独自の、毎年続けられる催しの企画	
	催しの情報を様々な媒体を使い積極的にお知らせする、観光面とのタイアップ	
	使用料、使用方法など、市民や市内学校、文化団体への特段の配慮	

### (運営計画)

項目	市民意見・要望	検討課題
管理者	指定管理者制度等で民間の活力を導入する	
	市の文化行政や教育との連携のためには、全く外部の管理者よりは財団法人などを設立すべき	
	管理・運営・企画等、NPOや市民ボランティアの力を活用する	
	指定管理者やボランティアは公募する	
	シルバー人材センターの活用	
	芸術監督、企画員、学芸員等の専門職員の起用、市の一般職員は配置しない	
その他	太陽光発電設備等を取り入れ、環境負荷の低減と維持費の削減を行う	
	災害時の防災拠点としての整備	

## 3 その他

### (建設関係)

項目	市民意見・要望	検討課題
建設費	将来的な維持・管理面まで見据え、過剰な投資・負担とならないような財政面への配慮	・建設費のシュミレーション ・維持管理費のシュミレーション
	【アンケート問6、回答率22.6%（第1位）】	
	市民や企業から寄付を募る	
	上田市の身の丈にあった施設を	
	外観にお金をかけずその分利用者のための設備に充てる	
設計	外観にお金をかけずその分ホール等の設備に充てる	・設計者の選定方法
	上田城、千曲川などの自然等、景観に十分配慮した設計にする	
	設計は有名な建築家が行うと使いにくい施設になる	
	「コンパクトなもの」か「立派なもの」、中途半端なものなら造らない方がよい	



市内文化施設（ホール）の状況

施設名称	ホール形状	年間利用者数	収入合計	支出合計	位置
		(内大ホール)	(金額:千円)	(金額:千円)	
開館年月(経過年数)	座席数	常勤職員数	使用料	人件費	計画地からの直線距離
		事業数(内自主)	事業収入	事業費	
管理者		稼働率	その他	運営費	
上田市民会館 昭和38年11月(44年) 直営	劇場型多目的ホール 1330席 (傾斜固定席)	100,277人 (76,935)	8,273	57,977	500m
		4人	8,272	37,071	
		132(0)	0	0	
		44.4%	1	20,906	
上田文化会館 昭和60年6月(23年) 直営	劇場型多目的ホール 502席 (傾斜固定席)	68,351人 (39,004)	7,051	72,621	1.7km
		6人	7,035	51,784	
		145(28)	0	0	
		48.8%	16	20,837	
丸子文化会館 セレスホール 平成5年1月(15年) 直営	劇場型多目的ホール 大ホール 808席 (傾斜固定席) 小ホール 306席 (平土間移動椅子)	82,224人 (33,756)	14,220	90,988	9.3km
		3人	5,195	25,497	
		117(5)	8,687	15,559	
		36.7%	338	49,932	
信州国際音楽村 ホールこだま 昭和62年5月(21年) (財)信州国際音楽村(指定)	コンサートホール 300席 (傾斜固定席)	50,066人 (32,794)	30,618	32,570	5.5km
		3人	7,475	12,397	
		189(69)	3,629	7,050	
		57.8%	19,514	13,123	
真田公民館 (文化会館) 昭和61年4月(22年) 直営	集会・イベント型多目的ホール 400席(最大500席) (平土間、移動椅子)	22,791人 (14,479)	959	53,974	7.4km
		6人	145	35,969	
		332(75)	69	11,758	
			745	6,247	
上田創造館 昭和61年1月(22年) 上田地域広域連合(指定)	集会・イベント型多目的ホール 500席 (平土間、260席可動壁収納 +移動椅子)	190,598人 (38,466)	161,119	159,917	2.0km
		15人	0	75,704	
		164(35)	220	78,366	
		53.5%	160,899	5,847	

上田市民会館、丸子文化会館（セレスホール）の主な事業

上田市民会館（H19年度市主催・共催事業）

平成20年11月26日  
交流・文化施設等整備検討委員会  
専門委員会（ホール部会） 資料2-3

開催月	事業名	ジャンル	内容	入場者数(約)	備考
5月	アルベルトライブ2007	音楽	鑑賞	1,000	
	神野美伽コンサート	音楽	鑑賞	1,800	2回公演
	青年劇場「菜の花らぶそでい」	演劇	鑑賞	1,700	2日間
	上田市民吹奏楽団第31回定期演奏会	音楽	発表	600	
	セガワバレエアカデミー上田教室発表会	バレエ	発表	1,100	
6月	さだまさシアコースティックコンサート	音楽	鑑賞	1,300	市主催
	ミュージカル 地震カミナリ火事オヤジ	演劇	鑑賞	1,000	
7月	第20回上田平和音楽祭	音楽	鑑賞	950	
	海上自衛隊横須賀音楽隊ふれあいコンサート	音楽	鑑賞	1,300	
8月	ブルガリア国立フィリップ・クテフ合唱団	音楽	鑑賞	900	
	長野国際ゴスペルフェスティバル2007	音楽	鑑賞	600	
	上田城跡能	舞台	鑑賞・体験	1,500	市主催
9月	駒沢大学吹奏楽部演奏会in上田	音楽	鑑賞	1,000	
	こまつ座 「円生と志ん生」	演劇	鑑賞	1,700	2日間
	水森かおり コンサート	音楽	鑑賞	2,500	2回公演
	第13回児童謡唱歌フェスティバル	音楽	鑑賞	1,000	
10月	金剛山歌劇団アンサンブル公演	演劇	鑑賞	1,700	2回公演
	信学会上田・千曲地区第26回なかよし音楽会	音楽	発表	800	
11月	白鳥バレエ学園合同発表会	バレエ	発表	900	
	第52回上田グローリア合唱団 演奏会	音楽	鑑賞	900	
	劇団NLT公演「オスカー」	演劇	鑑賞	800	
	上田市消防団音楽隊 第2回定期演奏会	音楽	発表	800	市主催
12月	上田市民吹奏楽団ポップスコンサート2007	音楽	発表	700	
	葉加瀬太郎の世界2008	音楽	鑑賞	1,200	
2月	アグネス・チャン—世界へとどけ平和の歌声—	音楽	鑑賞	1,300	
	ミュージカル「真田幸村〜夢・燃ゆる〜」	歌舞劇	鑑賞	2,200	市主催、2日間

丸子文化会館（セレスホール、）

開催月	事業名	ジャンル	内容	入場者数(約)	備考
7月	ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット	音楽	鑑賞	300	自主事業
8月	第8回NAGANO国際音楽祭2007	音楽	鑑賞	300	
10月	第15回セレス・ピアノ・リレーコンサート	音楽	発表	100	自主事業
	男女共同参画推進事業映画会	映画	鑑賞	250	市主催
11月	丸子四季の里総合文化祭	舞台・展示	発表	500	
	第18回上小地区母親コーラスまつり	音楽	発表	300	
	ともに楽しむ音楽会	音楽・舞踊	発表	500	
12月	子どもからのラブレターシリーズ①「あの子が笑えば」	演劇	発表	600	
	スタジオJOYダンシングコンサートTHE MAX	舞踊	発表	500	
1月	ヨハン・シュトラウス管弦楽団ニューイヤークンサート	音楽	鑑賞	700	自主事業（2日間）
2月	上田子ども文化祭	舞台・展示	発表	600	市主催
3月	劇団四季ファミリーミュージカル「魔法を捨てたマジヨリン」	歌舞劇	鑑賞	800	自主事業